

日刊建設工業新聞 第2面

CIC持っている合格ノウハウを提供

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、業務多忙で時間がない人のために「時間あたりの情報量」を重視し、講義内容を凝縮した短期合格講座を実施している。

1月から続々と開講する同社の施工管理技士映像通信講座は、短期講座でも合格に必要な情報は不足なく伝え、効率性重視で無駄を省いた内容となっている。その結果、わずか14時間程度で試験合格のためのインプット講義が終了する。また、Web通信講座での倍速機能を活用すれば、約7時間で講義が視聴でき、たった1日で一気に



に学習範囲を聴き終えることも可能だという。最大のメリットは、講義時間を短縮した分、過去問題集による復習に時間を充当できること。

同社の担当者は「これまで講義を聴くだけで試験当日になってしまった経験がある人に薦めたい」と話す。

問い合わせ先はフリーダイヤル(0120)957828。

建通新聞 中部版 第4面

CIC 施工管理技士映像通信講座 効率性重視で合格へ

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、業務多忙で時間がない人のために「時間あたりの情報量」を重視し、講義内容を凝縮した短期合格講座を実施している。2020年1月からインプット講義が終了す



スマホで学習

同社の担当者は「これまで講義を聴くだけで試験当日になってしまった経験がある人に薦めたい」と話す。問い合わせ先はフリーダイヤル(0120)957828。

る。また、Web通信講座での倍速機能を活用すれば、約7時間で講義が視聴でき、たった1日で一気に学習範囲を聴き終えることも可能だという。最大のメリットは、講義時間を短縮した分、過去問題集による復習に時間を充当できること。

建通新聞 神奈川版 第3面

CIC 持っている合格 ノウハウを提供

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、業務多忙で時間がない人のために「時間あたりの情報量」を重視し、講義内容を凝縮した短期合格講座を実施している。

1月から続々と開講する同社の施工管理技士映像通信講座は、短期講座でも合格に必要な情報は不足なく伝え、効率性重視で無駄を省いた内容となっている。その結果、わずか14時間程度で試験合格のためのインプット講義が終了する。また、Web通信講座での倍速機能を活用すれば、約7時間で講義が視聴でき、たった1日で一気に学習範囲を聴き終えることも可能だという。最大のメ



スマホで学習（イメージ）



日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、業務多忙で時間がな

CICが短期合格講座 合格ノウハウを提供

1月から続々と開講する同社の施工管理技士映像通信講座は、短期講座でも合格に必要な情報は不足なく伝え、効率性重視で無駄を省いた内容となっている。その結果、わずか14時間程度で試験合格のためのインプット

講義が終了する。また、Web通信講座での倍速機能を活用すれば、約7時間で講義が視聴でき、たった1日で一気に学習範囲を聴き終えることも可能だという。最大のメリットは、講義時間を短縮した分、過去問題集による復習に時間を充てることができること。

同社の担当者は「これまで講義を聴くだけで試験当日になってしまった経験がある人に薦めた」と話す。

問い合わせ先はフリーダイヤル（0120）957828。



が視聴でき、たった1日で一気に学習範囲を聴き終えることも可能だという。最大のメリットは、講義時間を短縮した分、過去問題集による復習に時間を充てることができること。

同社の担当者は「これまで講義を聴くだけで試験当日になってしまった経験がある人に薦めた」と話す。

問い合わせ先はフリーダイヤル（0120）957828。

技術者
研究会
支部会

見学会の参加者募集

現場発泡ウレタン軽量盛土工法

ウレタン土木技術研究会中部支部会（原滋俊支部長）は、「R-PPUR工法」（現場発泡ウレタン軽量盛土工法）の施工現場見学会を開催する。希望者は事前に同研究会事務局にファクスで申し込む。申込期限は25日。同工法は、急傾斜地などで硬質ウレタン樹脂を

和秀教授の講演も行う。日時は2020年1月17日午後1時から。会場は熱海第一ビル（熱海市田原本町9ノ1）。現場へはバスで移動する。参加費は無料。参加者には2ポイントのCPD単位が付与される。ヘルメット持参。詳細は全国測量設計業協会連合会や建設コンサルタンツ協会CPI

CIC 合格ノウハウを提供

内容凝縮した短期講座開催

Dシステムのホームページで確認可能。

問い合わせ先はウレタン土木技術研究会中部支部会 電話050（3145）6058。

1月から続々と開講する同社の施工管理技士映像通信講座は、短期講座でも合格に必要な情報は不足なく伝え、効率性重視で無駄を省いた内容となっている。その結果、わずか14時間程度で試験合格のための



インプット講義が終了する。また、Web通信講座での倍速機能を活用すれば、約7時間で講義が視聴でき、たった1日で一気に学習範囲を聴き終えることも可能だという。最大のメリットは、講義時間を短縮した分、過去問題集による復習に時間を充てることができること。

同社の担当者は「これまで講義を聴くだけで試験当日になってしまった経験がある人に薦めた」と話す。

問い合わせ先はフリーダイヤル（0120）957828。